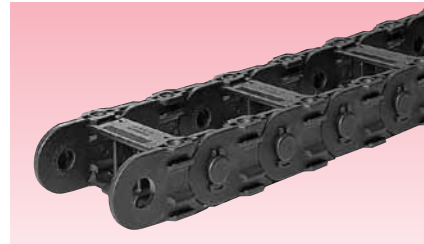
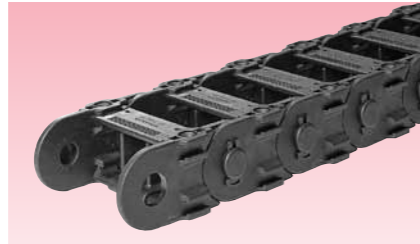


TYPE PKK

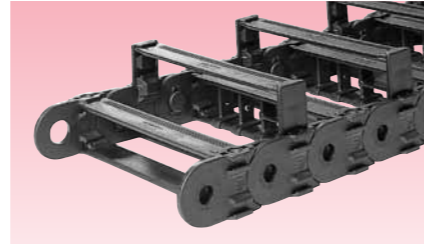
プラスチック製組合せ形パワーゴジラ



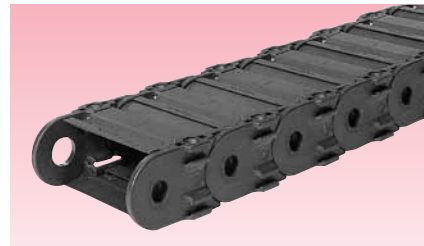
PKK ※※0



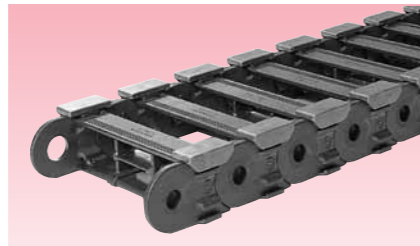
PKK ※※1



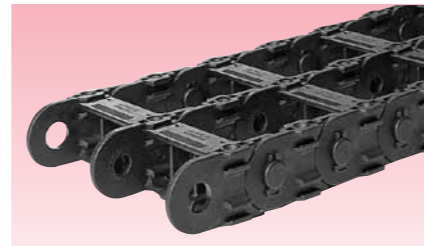
PKK ※※3



PKK ※※5



PKK ※※8

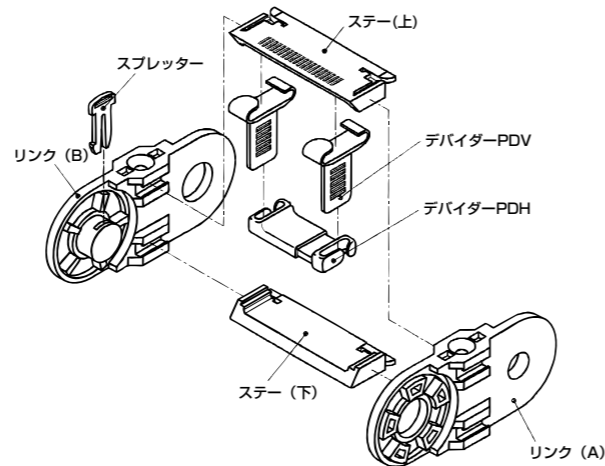


2連の使用例

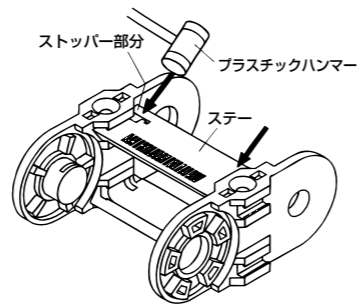
軽量汎用標準タイプ

特長

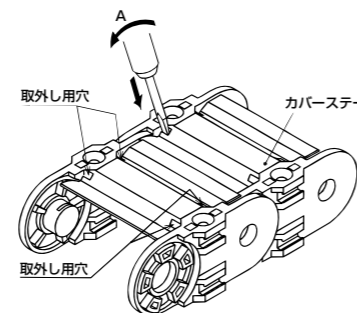
- 移動速度が速く、移動距離が長い場所に最適なケーブル・ホースガイド
- 専用の取付金具が不要。
- 3次元に増設が可能。
- リンクとリンクをスプレッターで継いだものを2列（リンクA列とリンクB列）作り、ステータ上とステータ下を差し込んで箱状のガイドを作り、デバイダーPDVをステータ上に取り付け、デバイダーPDHをデバイダーPDVに取り付けた構造です。リンクAとリンクB及びステータ上とステータ下は、それぞれ同一の部品です。PDV,PDHはオプションです。
- ステータの取付け間隔の違い、補助ステータの追加組付け、ステータとカバーステータの組替え、スライダの追加組付け等により※※0タイプ、※※1タイプ、※※3タイプ、※※5タイプ及び※※8タイプの5タイプのバリエーションのパワーゴジラとなります。
- ※20,※30タイプ等の※印は数字の1、2、3及び5で、パワーゴジラのサイズ（外側高さ）を表示しています。1=25mm、2=50mm、3=75mm、5=108mmを意味しています。
- 標準のリンクは※2※です。リンクを厚くし、強度をアップしたタイプを※3※として追加しました。（PKK53※のみ）
- ケーブル・ホースをセクションング（分割・整理）するためにデバイダーPDV及びPDHがステータに取り付けられます。デバイダーの取付けは、予めステータ上（※※5タイプは、カバーステータ）にPDV及びPDHを取付け、それをリンクに組付けて下さい。
- パワーゴジラの短縮は、リンクのボスに差し込んであるスプレッターを外せばリンクとリンクが離れ、簡単に短縮できます。
- 各タイプ共にパワーゴジラの側面にもう1個以上のパワーゴジラを継ぎ、2連以上にして使用することもできます。
- ケーブル・ホースの増設は、長いステータに交換、補助ステータの追加（PKK※※3）又は2連以上にリンクを連結することにより可能です。
- ケーブル・ホースの装着は、パワーゴジラの曲げの内側・外側のどちらからでもできます。
- 移動距離が長い場合は、ガイドチャンネルをご使用下さい。
- パワーゴジラの末端でケーブルのクランプが必要な場合は、227頁のケーブル・ホース用クランプパーツをご使用下さい。
- パワーゴジラの機器への取付けは、パワーゴジラのリンクの中央に設けている穴（M4、M6、M8ボルト用）を使用して皿ボルト（PKK5※※は六角穴付きボルト）で固定して下さい。取付金具が特別に必要ないのでその分だけ施工が簡単で安価となります。



ステータ取外し方法



ステータのストッパー部分を図のようにプラスチックハンマーで斜め方向から叩くことでストッパー部が下がりながらステータが外れます。ストッパー部を叩く時は破損しない程度で叩いて下さい。



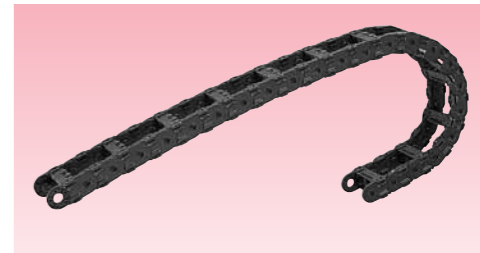
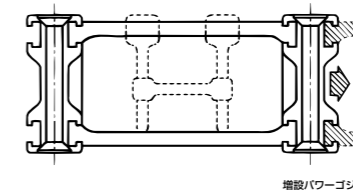
○ドライバーを取外し用穴（4箇所）に差し込み矢印A方向に倒すとストッパーがはずれカバーステータが上側にはずれます。

主材質	色調	温度範囲	環境	燃焼性
PAG	黒色	-15℃ ~80℃	RoHS 10物質対応	UL94HB

TYPE PKK

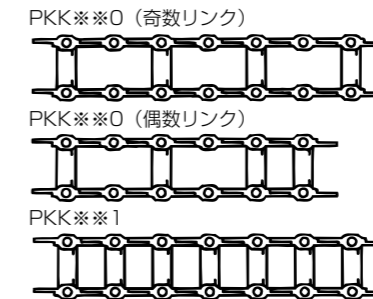
PKK ※※0 (120/220/320/530)

- ステータを2リンク毎の上下に組付けたもので、Type PKKの基本タイプです。
- パワーゴジラの側面にもう1個以上のパワーゴジラを継ぎ、連結型にして使用できます。



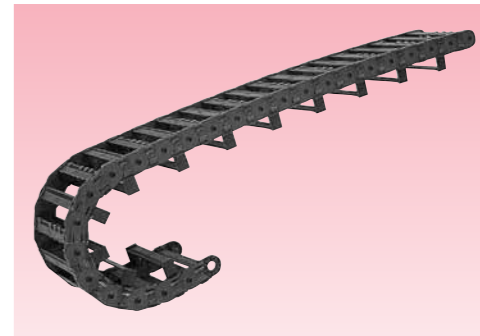
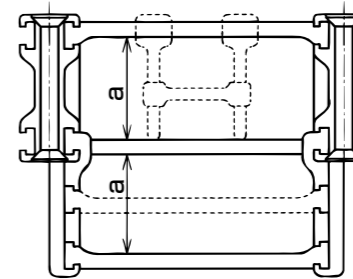
PKK ※※1 (121/221/321/531)

- 基本的にはType PKK※※0と同じですがType PKK※※0は、ステータを2リンク毎に取り付けたものに対し、Type PKK※※1は、ステータを各リンク毎に組付けたものです。



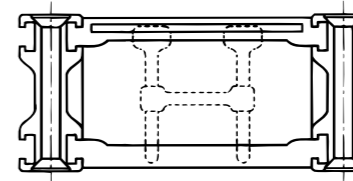
PKK ※※3 (123/223/323)

- Type PKK※※1の曲げの内側に補助ステータを2リンク毎に組付けたものです。又、曲げの外側に補助ステータを取付けることも可能です。
- この補助ステータの中にもケーブル・ホースを装着しますが、パワーゴジラの移動速度が遅い場合のみこのタイプが使用できます。



PKK ※※5 (125/225/325/535)

- Type PKK※※1のステータの代わりにカバーステータを組付けて密閉型にしたものです。
- 溶接のビード、ほこり等からケーブル・ホースを保護する場合にご使用下さい。



PKK ※※8 (128/228/328)

- Type PKK※※1の曲げの内側にスライダを組付けたものです。（スライド走行専用）
- 移動距離が長く、スライド走行する場合で、ストロークの回数が多く、移動速度が1m/秒以上の場合は、スライダを取付け、スライダとスライダを滑らせます。
- 連結型（パワーゴジラを2連継げたもの）の場合は、真中のリンクにはスライダを取付けず両サイドのリンクのみにスライダを組付けます。
- 移動端及び固定端のリンクにはスライダは取付けられません。
- 通常の良好な使用環境では標準タイプのスライダとなりますが、通常タイプより摩擦しにくい特殊スライダもあります（228,328のみ）。型式PKK228N、328Nとご指定下さい。

